

令和3年度 第3回 八千代市通学区域審議会記録

日時	令和4年2月16日 17時30分から18時25分
場所	八千代市教育委員会大会議室
議題	緑が丘西2丁目の新大型集合住宅における通学区域について
公開又は 非公開の別	公開
出席者	<以下敬称略> 村山和一，鷹野元嗣，綱島照雄，内藤めぐみ，嶺岸秀一，鈴木利明， 市村順一郎
事務局	教育次長 長島秀一，教育総務課長 島津俊明，学務課長 設楽憲一， 指導課長 高木雅晴，保健体育課長 加藤英昭， 事務局員 瀬口朗子，渡邊和紀，芳賀岳洋，片桐庸至
傍聴者定員	3名
傍聴者	2名
事務局員	それでは，早速審議会に移りたいと思います。進行は審議会長，どうぞ よろしくをお願いします。
審議会長	本日は，2名の委員が所用のため欠席という連絡がございました。本日 の出席委員8名でございます。過半数に達しておりますので，当審議会が 成立しておりますことをご報告いたします。なお，今回は前回の審議の続 きとなっております。非常に重要な内容となっておりますが，蔓延防止等 重点措置が実施されていることから，効率的に議論が進められますよう， ご協力のほどをよろしくお願いいたします。それでは，審議に入る前にご 挨拶を申し上げたいと思います。本日は委員の皆様大変お忙しいところ， また夕暮れ時にご出席を賜りまして，大変ありがとうございます。先 ほどもお話をしました通り，緑が丘に新しくできる新大型集合住宅の建設 に伴い，子供たちの通学区域といいますか，指定校をどこの学校にしたら よいかというのがテーマでございます。本日，視察を兼ねて現地を歩いて いただいた皆様には大変ご苦労さまでした。そういったことを念頭に入れ ながら，審議に臨んでいただければと思います。大変整いませんけれども 冒頭の挨拶に代えさせていただきます。それでは，まず，議事ございま すが，緑が丘西2丁目新大型集合住宅における通学区域について，これを 議題といたします。それでは事務局の方より説明をお願いいたします。
事務局員	それでは，議題は前回に引き続き，ご覧のようになっておりますので， よろしくお願いいたします。初めに，前回の説明内容をおさらいいたしま す。まず，こちらの緑色で囲まれている地区は，みどりが丘小の通学区域 です。この通学区域に618戸の新大型集合住宅が建設中です。新大型集合 住宅は2棟に分かれております。ここでポイントとなるのは，1棟目の販 売開始が約1ヶ月後の令和4年3月中旬となっていることです。この販売

開始時期には、新大型集合住宅の購入者に通学区域をお知らせする必要があります。しかし、みどりが丘小の教室数で受け入れられるかという問題が生じました。みどりが丘小は、現在 24 教室ございます。周辺の開発は、現在も進んでいるため、教室の増築を進めており、現段階で 42 教室まで計画があります。しかし、児童数がまだ増える見込みがあること。そして、教育委員会で把握しているのは、住民基本台帳に記載されている児童数であることから、現在コンサルタント業者や関係部局と連携をし、推計値を算出しているところです。そして業者から中間報告として概算値を取り寄せました。それでは、こちらの資料 1 をご覧ください。これが業者からの中間報告で、まず、上が新大型集合住宅を含んだみどりが丘小の推計です。みどりが丘小は、今年度、特別支援学級を含め、27 学級で運営をしております。推計では、来年度以降、学級数は増え続け、63 学級になる可能性になると出ております。なお、この中には、特別支援学級 6 学級分が含まれております。ちなみに、特別支援学級は 8 名で 1 学級です。これらのことから、前回の審議会で、新大型集合住宅をみどりが丘小に入れることは難しいと確認をとりました。なお、今回の資料には参考として、みどりが丘小から新大型集合住宅を除いた場合の推計値も載せております。このような状況を踏まえ、教育長から八千代市通学区域審議会に対し、ご覧のような内容で諮問をされております。そこで次に新大型集合住宅から近い学校として新木戸小学校がございます。こちらを受け入れ先の案として考え、現状を調べました。まず、ピンク色の区域は、新木戸小の学区です。この中にある水色の区域は、以前はみどりが丘小の学区でした。しかし、ご覧の大型集合住宅 3 棟が建設され、みどりが丘小の児童数が急増する見込みとなりました。そこで、通学区域審議会で審議をした結果、令和 3 年 4 月から、水色の区域を新木戸小学区へと変更し、このことにより、みどりが丘小の大規模化を抑制する対策をとっております。

次に、新木戸小学校について、資料 2 を使ってご説明します。まず、こちらは新大型集合住宅を含めた場合の新木戸小学校、そして下の方は新大型集合住宅を除いた通常の新木戸小学校です。まず、今年度は 23 学級で運営をしております。そして、令和 8 年度には、特別支援学級 4 学級を含め、41 学級になる見込みです。新木戸小の教室数は最大で 42 教室程度と考えております。この状態に新大型集合住宅を加えた上の棒グラフを見ると、令和 10 年度から特別支援学級 5 学級を含め、51 学級になる予測が出ました。

続いて、新木戸小学校の学童保育についてご説明します。このピンク色で囲まれている場所は新木戸小学校の運動場で、新木戸小の学童保育は、現在、校舎内の余裕教室を使用しております。今後はさらに児童数が増える見込みから、新木戸小の教室数を確保する必要があり、敷地内に学童保育棟を建設する予定です。現在の学童保育は、この学童保育棟に移ることになります。なお、学童保育棟の大きさとしては、検討中であり、スライ

ドに映っているのは、おおよその目安です。以上、みどりが丘小と新木戸小の説明をさせていただきました。審議会長、よろしく願いいたします。

審議会長

ありがとうございました。前回、確認をしておりましたが、新木戸小学校でも、子供たちを受入れるのは非常に厳しいと思われま。委員の皆様ご意見をいただきたいのですが、いかがでしょうか。ご意見ございませんか。ぜひ前回と同じような内容でも構いませんので、どうぞ、お願いいたします。

審議委員

前回は触れさせていただきましたが、今、事務局、または審議会長から説明があった中で、再度、学校の校長として考えるに、みどりが丘小学校の敷地に、例えばプランどおりに作った場合、やはりそれについては豊かな教育環境として適切ではないんじゃないかなと思います。やはり、適正規模の人数ということを含めて、やはりそこをしっかりと押さえた上で考えていく。安易に増築すればいいということについては、学童保育所の建築、建設予定も踏まえて一つ重要な視点として定義させていただければなと思います。

審議会長

はい。ありがとうございました。ただいまのご意見を、新大型集合住宅の子供たちが、新大型集合住宅ができた時に、新木戸小学校或いはみどりが丘小学校の方に通学をさせるというようなことは非常に困難であろうというご意見だろうと思われま。それではよろしいでしょうか。はい。それでは確認が取れましたので、事務局から次の説明をお願いいたします。

事務局員

それでは再びスライドでご説明いたします。次の案として、西高津小学校、高津小学校、そして大和田西小学校の3校を挙げました。それぞれ、通学路の距離と歩道の状況から、ご覧のような通学路で調べました。すると、西高津小へは、約1.9キロメートル、高津小へは約2.1キロメートル、大和田西小へは約2.8キロメートルあることがわかりました。この距離と歩道の整備状況から、解決策の一つとして、西高津小を考え、推計を委託しております。こちらの資料3が、西高津小の中間報告になります。まずこちらが新大型集合住宅を除いた通常の西高津小学校です。西高津小は、本年度18学級であり、今後減少傾向にあることがわかります。そしてこちらが新大型集合住宅を加えた結果です。ご覧のように、最大でも21学級の予測となっております。西高津小の教室数は最大で43教室程度と考えており、ゆとりのある学習環境となります。ここで似たような状況が習志野市にもございますので、その対応についてご紹介いたします。JR津田沼駅の南側にある谷津小学校の学区についてです。まずJR津田沼駅と谷津小学校はこちらにございます。谷津小学校の学区に大型集合住宅3棟が建設されました。しかし、谷津小学校の教室数が足りなくなる見込みから、この大型集合住宅に住む児童のみ、谷津南小学校へ通わせております。距離は約2キロメートルです。歩ける距離ではございますが、この通学路は京成線の踏切を通ること、交通量の多い国道14号線を通することなど

から、路線バスを活用して登下校をさせております。また、同じ谷津小学校の学区に別の2棟の大型集合住宅が建設されました。こちらも教室数が足りなくなることから、2棟の大型集合住宅に住む児童のみ、向山小学校に通わせております。距離は約1キロメートルであるため、徒歩で通わせております。また、大型集合住宅販売時には、通う学校は向山小学校であると指定をしておりました。八千代市でも過去に学校の大規模化を抑制するために、学区変更をした例があるので、紹介いたします。こちらの村上北小学校の学区です。まず、以前は、村上小の学区はピンク色の地区、村上北小学校の学区は黄色の地区と、このように分けておりました。ところが、村上駅周辺の開発が進んだことで、児童数が急増し、村上小に入りきらなくなる予測が立ちました。そこで、八千代市通学区域審議会で審議を行った結果、村上小学校のこの部分を、このように、村上北小学校の学区に変更したという例がございます。距離としては、村上小学校の方が近いのですが、このような通学路を遠いご家庭からは約2キロメートル歩いて通っていただいております。前回の審議会では、ここまでの説明を踏まえ、実際に通学路を視察しましょうということになりました。今回の視察は、一番近い西高津小までの通学路、そして高津小へ曲がる箇所の視察を行いました。事務局で事前に撮影した画像がありますので、それをもとにご説明いたします。まずこちらが現在の新大型集合住宅の様子です。奥の方には重機があり、工事が進んでおりました。また、少し高いところから見ると、このようになり、土台が整っているように見えます。続いて、新大型集合住宅から西高津小学校へは、通学路の案として、このような、青い線を通りました。まず、新大型集合住宅から駅の高架下を通り、イオン脇の広い歩道を進んでいきます。そして、高津支所を曲がり、団地内を歩いて西高津小学校へ向かいました。それでは、通学路の様子についてお伝えします。まず新大型集合住宅において、西高津小に近い出入口付近から出発をしました。そして、すぐにある横断歩道を緑が丘駅方面に渡っております。続いて、高架下をくぐり駅とイオンの間の道を進んでいきます。そして、イオンの東側に出て、広い歩道を進んでいきました。さらにその先にあるスクランブル交差点を渡ります。現在は国道296号線に向かっているところです。なお、ここは右手に新木戸小学校がある交差点で、新木戸小を右手に見ながら進んでいきます。また、左手からは新木戸小に向かう児童が向かってきます。さらに進んで、ファミリーマートがある横断歩道を渡りました。ここから西高津小学区に入ることとなります。そしてこちらが国道296号線を横断するところです。その先には高津支所があります。ここから高津団地内に入っていました。団地内を歩き、このようにさらに進んでいくと、すでに奥の方に見えておりますが、西高津小学校に到着しました。また、高津小に行く場合は、今ご説明したルートと、途中まで同じ道を通ることとなります。今回は、高津小へ渡れる場所を確認しました。高津小に行く場合は、296号線に到着する手前にあるファミリーマー

トの前の横断歩道をご覧のようにわたります。西高津小の通学路とは、道路を挟んで反対側を歩くこととなります。そして、途中から高津団地1街区内に入り、高津小学校に向かいます。

また、前回の審議会で、バスでの登下校に関するご発言がありました。習志野市のように、路線バスを活用した例を考えますと、緑が丘駅の北口からバスが出ておりますので、こちらを活用することができます。まず、駅はこちらにございます。北口のロータリーからバスに乗り、高津団地方面に向かっていきます。そして、西高地小学校の近くには、東洋バスのロータリーがあるため、ここで停車をします。目の前には、西高津小がありますので、ここまで歩いて登校することとなります。事務局からは以上となります。審議会長、よろしく願いいたします。

審議会長

ありがとうございました。ただいま、西高津小学校、それから高津小学校までの通学路というようなことでスライドを見させていただきました。この他に、近くには大和田西小学校もあるわけですが、大和田西小学校は高津小学校、或いは西高津小学校よりもかなり距離的に時間もかかる、距離もあるというようなことで、大和田西小学校への通学はおそらく不可能であろうという観点から、この2校に絞っていくというようなことになろうかなと思われまます。それではここで、今日視察を兼ねながらこの現地を歩いてくださった皆様方から、ご意見をちょうだいしたいというふうに思いますが、よろしいでしょうか。では現地を視察していただいた方どなたでも結構ですので、思ったことをご発言していただければというふうに思います。何かございませんか。視察をした方。はいどうぞ。

審議委員

一緒に見させて歩かせてもらいましたが、私は距離的にはどうにかいけるのかなと、通学路としてできるのかなと感じました。ただ、新1年生ということになってそれが単独で行くということになると、やはり、道路があつたり、また後ろから自転車等も来たりしてましたので、単独の新1年生が行くというのはなかなか難しいのかなと感じていまして。できることだったら、お兄ちゃんお姉ちゃんと一緒に行くとか、バスを選択するとか、何かこうそこに手当てをすればできるのかなと思っております。最初の新1年生でも、慣れれば、大丈夫かなという気はするんですけど、最初はやはり難しいかなと思いました。以上です。

審議会長

ありがとうございます。他に。どなたかございますか。はいどうぞ。

審議委員

一緒に歩かせていただいたんですけども、歩道は広くてすごくいいと思いました。ただ今ご意見があつたように、ちょっと距離がありますので、1年生とか低学年が終業式に荷物をたくさん持って歩くとか、あとは晴れる日だけじゃないので、風が強い日とか、雪が積もったりとかそういうところで、ちょっと歩くには距離的にやはり長いなっていう感じはしました。あとは駅前を通りますので、通学だけでなくその通勤の人がどのぐらいいるかっていうのも気になったところです。以上です。

審議会長

ありがとうございます。はいどうぞ。

審議委員

私が感じたのは、通学路としては相当恵まれてる通学路だと思いました。ただ、距離が長いというのは皆様がおっしゃった通り、低学年には厳しいだろうなというふうに思います。

あとは、先ほど委員さんがおっしゃっていた登校時の方向に、つまり駅方向に向かってくる方々がいて、どの程度混雑するのか、今日はちょっとわかりませんでしたので何とも言えませんが、話しながら、ふざけながら歩いてたら危ないことはあるのかなあとか。多分自転車が後ろから来たら気がつかないで自転車とぶつかることもあるかもしれないなという危険性は感じました。ただ、通学路としては相当恵まれている通学路であると思いました。先ほど、他の委員さんからも出ましたけれども、バス等の代替が可能であるというようなことであるならば、私は西高津小学校を選択するという事は、決して難しいことではないのではないかと感じました。以上です。

審議会長

はい、ありがとうございます。先ほど私が大和田西小学校の方は無理だろうという、個人的なことを言ってしまいましたけども、ここで、再度委員の皆様から確認を取りたいと思います。新しくできる新大型集合住宅から大和田西小学校の方に子供たちを通わせてもよい、あるいは通わせることは不可能だろうという、この二つに一つの選択だろうと思います。委員の皆様、大和田西小学校の方に通わせるのは不可能だというご意見の皆様、申し訳ないのですが挙手をしていただければと思いますけども、いかがでしょう。過半数といいますか全員、大和田西小学校の方に通学させることはまず不可能だろうということで高津小学校、西高津小学校のどちらかを選択していくというようなことで、これからまた会議の方進めていきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。それでは先ほど、スライドを見ていただき、そして今日歩いていただいた方のご意見等を伺いました。参加をされた皆さんは、高学年の人たちは、歩いて十分西高津小あるいは高津小に通うことは大丈夫だろうと。ただ低学年、1年生から3年生ぐらいまでの子供たちは、なかなかそこを通るのも大変ではないかと、いうご意見でございます。事務局といたしまして、またこの今伺った意見を踏まえながら、何かございましたらご発言していただければと思います。

事務局員

ご意見、ご感想ありがとうございます。今回歩かせていただいた時間では、確かに混雑具合ですとか、通勤の様子がわからない時間でございますので、本日そこに関してははっきりとお答えすることは難しいですが、しっかりと調査をしてまいりたいと思います。ただ歩道に関しては、今回は安心できる広さがあるのかなど、ご意見を聞いたときに、私も感じたところでございます。また、バスに関しては、貴重なご意見をいただきましたし、上学年や下学年によって、それぞれ選択したり、対応を変えたりするなど、確かにそのような可能性があると思います。こちら、教育委員会だけでは決められないことであり、関係部局とも協議をして、決めていき

たいと考えております。ご意見ありがとうございました。以上になります。

審議会長

ありがとうございました。それではいろいろな意見が出たわけですが、当然、通学路の安全を優先に考えていかなきゃならないと思います。前回、委員の方からバスを検討したらどうだというご意見がございました。先ほど事務局の方からも、バスの通学についての検討もするというお話もございました。それから今日視察をしたのは、午後からの視察というようなことで、朝の通勤時間帯の時の通学路に指定した場合にはどのような状況になっているのかそういったことも知りたいというご意見がございまして、それに関してはまた事務局の方で、現地の方に出向いていただき、朝の状況等も確認をしていただき、次回の審議会にそれを反映していただければというふうに思います。それでは委員の皆様にもう一度お話をさせていただきますが、ここでできる新大型集合住宅の児童ほどの小学校を指定したらよいかということまで、考えていきたいと思うのですが、委員の皆様どうでしょうか。ご意見がございましたら、ご発言していただきたいなど。もちろん、今日視察をして、西高津小学校まで歩いてみたので、そういったところも踏まえながら、この学校が一番いいんではないかと思えますというようなことでも結構ですので、お願いをいたします。はいどうぞ。

審議委員

今日ちょっと視察の方はしていないんですが、私、準地域住民と言ってもいいかのところに住んでおりますので、よく状況は分かっているつもりでおります。先ほどありましたように、歩道はかなり広く、本当に歩きやすいというかですね、安全に関しては担保できるんじゃないかなという広さはあると思います。距離的には1.9キロということですが、私の学校においては、先ほどもご案内ありましたように、2キロを歩いてくる子供たちが実際におります。確かに、1年生は最初はお母さんが一緒に歩く姿が見られますが、決して通えない距離ではない。今の状況でいえば、楽しそうに毎日通ってくるという状況もありますので、高津小学校、西高津小学校と比べるとですね、少しでも近い西高津小学校が適当ではないかなと私は思います。

審議会長

ありがとうございました。他に委員の皆様、ご意見がございましたらどうぞ。はいどうぞ。

審議委員

今日、西高津小学校までの通学路歩かせていただき、通学路になるであろうと思われる道路を歩かせていただいたんですが、先ほどもお話いたしました通り十分安全だろうと。相当安全な通学路だと私は思いました。この場面で高津小学校とどっちがいいと言われましてちょっと困るんですね。で、まず距離の話でほんのちょっとでも西高津小が近くて、歩く方向としては一番行きやすいんじゃないかと思えますので、この場合高津小学校をもう選択肢から外してしまっても良いんじゃないかと私は考えております。また、選択肢にいつまでも入れておくんでしたらやはり、高津小学校とどっちがいいのかっていう、比べ方をしなくちゃいけないだろう

と思うんですが、私は今日歩かせていただいた限りでは、十分、良い通学路だったと思っております。以上です。

審議会長

ありがとうございました。ただいま委員の方から、高津小学校よりも西高津小学校のほうが距離的にも近いし学校規模としてもゆとりのある、教育環境ができるんじゃないかというようなことで、西高津小学校を指定した方がいいんじゃないかというご意見でございます。他の皆様もどうでしょう。はいどうぞ。

審議委員

何人かの委員の方と、同意見な部分があります。まず、距離ということにおいてもそうですが、今回については、事務局からありませんでしたけども、今、会長の方から、適正としても、そして事務局の方からもこの西高津小学校の規模において、豊かな教育環境という点についていいのだろうと思います。同時に、私も昨年度、ある意味睦中学校からこの新大型集合住宅、そして高津中学校までの道を何回か歩きましたけども、非常に安心だということで、同感なんです。ただ、現在私の学校について、1年生から6年生の子供たちが通ってくるという視点で、やはり低学年、そして天候がいつもすぐれてる時だけじゃないんだということについて、しっかりと家から学校へ出して、そして帰ってこさせる、それについて一番心配されている保護者の視点、これをしっかりと踏まえる中で、やはりバスについて考えざるをえないんじゃないかなと思います。同時に、先ほど事務局から写真がありました、イオン前のスクランブル交差点を通るところについては、先ほど習志野の例もありましたけども、谷津小の前を歩いていくという心情的な部分もありますので、バスなど、しっかりと研究して、保護者に説明していくっていうことの中で、この西高津小学校をしっかりと説明をしていくことはなによりも重要なかなと思いました。ちょっと長くなりました。

審議会長

ありがとうございました。はい、次の方どうぞ。

審議委員

もし西高津小と高津小を選べるという選択肢があるならば、ちょっと質問なんですけれども、施設的にはどちらの小学校が古いとか、そういったのってわかりますか。なんか綺麗さっていうんですかね。小学校の綺麗さがちょっと気になって。みどりが丘小ってとてもすてきですよ。私、高津小は知っているんですけど、西高津小については中に入ったことがないんです。ちょっと興味本位なのですが、ものすごく歴史がある小学校同士なのかなと思ひまして、そしたら施設的な古さが変わらないんだったら、近いほうがいいかなと思ったんですけど。すいません。

審議会長

わかりますかね。委員の方から。

審議委員

私、高津小の卒業生ですので、お答えします。西高津小は、高津小の1年前にできました。それまで、もともと大和田小学校に通っていたんです。1年前に西高津小ができて、その次の年に高津小が開校したんです。

審議会長

約50年くらい、創立50年ですか。

審議委員

もうすぐ50年です。

審議会長 学校には、今日視察したときに、校舎に入る正門のところに、創立 50 周年という記念の、子供たちが描いた絵が貼ってありました。だから、両方、歴史的には同じぐらいの学校だろうと。学校の規模も大体同じぐらい。ただ西高津小の方が、新大型集合住宅からは近いというところだったと思います。はいどうぞ。

審議委員 中身は私もわかんないんですけど、先ほどから出ておりますバスっていう話をすると、バスのターミナルが西高津小学校のすぐ前にあるんですよ。そうすると、高津小学校へ行くよりも西高津小学校だから、バスを視野に入れた場合は、間違いなく近くまで来ますので、そう考えると、西高津小学校の方が、将来いろんな好条件を考える上でも有利なのかなっていう気はするんですけど。以上です。

審議会長 ありがとうございます。それでは先ほど来いろいろなご意見があったわけですが、やはり新しくできる新大型集合住宅から、一番本来でしたら、みどりが丘小あるいは新木戸小の方に通せることができれば一番いいわけですけども、生徒の数がとても多い、そして学校の規模が、子供たちを収容することはとてもできない。そういった観点から、新たにここで指定校といいますか、通う学校を決めていかなきゃならないということで皆さんにご意見をお伺いしました。ほとんどの委員の皆さんは、西高津小学校の方に、子供たちを通わせた方がいいのではないかというご意見だろうと思います。来月 3 月には、この新大型集合住宅の売り出しも始まるというようなことで、教育委員会からの方からも、答申の時期も指定をされております。また次回の審議会には先ほど出たバスの件、或いは朝の通学路の指定したところの通勤する人と、それから通学をしている人たちの様子等も事前に事務局の方で視察をしていただいて、次回の審議会に反映をさせていただきたいなと思います。他に今までの審議の内容で、何か気がついた点がございましたらご意見をお聞かせ願えればというふうに思いますが、はいどうぞ。

審議委員 学校につきましては、今まで意見が出ておりますように、西高津小学校についても、この推計を見ていきますと、減少傾向にありますので、適正な規模を保っていくっていう上でも、西高津小学校がいいのかなと思います。ただここに示されているのはあくまでも推計でありますので、今後またいろいろな要因で変わってくることも考えられますので、5 年後ですとか、また、適正な期間をおいて、また、この子供の数の推移を見守っていく必要があるかなと感じます。

審議会長 ありがとうございます。当然、学校の方がもう子供たちを収容しきれないというようなことになれば、また新たにこの通学区域を変えていかなきゃならない。そういったことで当然、事務局の方から、また我々審議委員の皆さんに、こういうことで、生徒がどんどん増えても学校が満杯状態だということでまた委員の皆さんに審議をお願いするというようなことがあろうかと思えます。その時にはぜひまた、貴重なご意見をいただければ

と思います。それでは他に何かないようでしたら、ありませんか。はいどうぞ。

審議委員

あと、今の委員の方のご意見と似ているんですが、基本的にはやはり地域の近くの学校に、近くの子供たちと一緒に学校に行かせるべきだと私も思うんですね。ですからそのみどりが丘小学校が、周りの子供たちの行っている学校であるとするならば、やはり見直しをして、いずれかの時点では、みどりが丘小学校に入れてあげられる、入ってもらえるような形に、やはり、どっかが溢れそうだから変えるとかだけじゃなくて、落ち着いたら、あそこをみどりが丘小学校にしたい。そのためには、やはり付記か何かをつけていただいて、何年ごとには、近隣学校の、児童数の推移、従って、指定するみたいなことをつけといていただけたら、あそこの子供たちもいずれはみどりが丘小学校に通えるんじゃないかと思うんで、ぜひそれよろしくをお願いします。

審議会長

ありがとうございます。事務局さん、よろしいですか。

事務局員

はい、大丈夫です。

審議会長

大丈夫ですか。それでは本日予定をしておりました、審議の内容をすべて皆さんからご意見等も伺って終わりました。次回は3月3日に予定をしておりますが、再度、閉会の前に、委員の皆様を確認をしておきたいなというふうに思います。先ほど、新しくできる新大型集合住宅の子供たちを西高津小学校に通わせるのが妥当だろうというご意見だと思いましたが、今後、この西高津小学校に通うというようなことで会議を続けていってもよろしいでしょうか。委員の皆様、どうですか。はい、ありがとうございます。それでは、次回、3月3日に予定をしておりますが、新しくできるこの新大型集合住宅に入居する子供たちは、西高津小学校を指定校ということで、またさらに、皆さんのご意見を伺いながら、答申案に向けての文章の作成に向けて、皆さんのご意見を伺っていきたいと思います。本日、予定をしておりました議題、すべて終了いたしましたので、本日の会議、これにて終了とさせていただきます。ご協力ありがとうございました。